



CROSS PLUS

第66期第2四半期(中間)

# 報告書

2018年2月1日～2018年7月31日

証券コード3320



Petit Honfleur  
プチオンフルール

## 売場をトータルで企画提案できる 総合アパレル企業を目指します

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
日頃より、クロスプラス株式会社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。ここに第66期第2四半期(2018年2月1日～2018年7月31日)の報告書をお届けします。

当期のアパレル・ファッション業界は、化粧品や高額品の販売において都市型百貨店等がインバウンド需要で好調に推移したものの、全体としては豪雨、酷暑、台風等天候の影響があり低調な傾向となりました。また、生活必需品の値上げ等を受け消費者の節約意識が強まっていることから、厳しい事業環境が続きました。

このような環境のなか、当社グループは企画提案力の強化、専門店向け販路の拡大、取扱商品の拡充に取り組んでまいりました。また、2018年2月よりメンズを主力とする相手先ブランドの企画製造事業を行う株式会社サードオフィスが、9月からは帽子を中心とした製造卸売事業を行う株式会社中初が新たに加わりました。

当社は長期的な将来像として、アパレル業界No.1のプラットフォーム企業を目指してまいります。アパレル商品だけでなく什器や雑貨、販促など売場をトータルで企画提案できる企業として、レディース・メンズ・キッズの衣料品、服飾雑貨、生活雑貨、ファッションやライフスタイルに関連する商品カテゴリーを拡充してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 山本 大寛 やまもと ひろのり

### Contents

株主の皆様へ	1	連結財務諸表	7
決算概況・連結業績の推移	2	株主優待制度のご紹介・配当政策	
トピックス	3	会社概要・役員状況	9
オンラインショップ・HPのご紹介	6	株式の状況・株主メモ	10

## 第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高288億53百万円(前年比98.6%)、営業損失3億12百万円(前年同期は1億42百万円の営業利益)、経常損失2億3百万円(前年同期は2億18百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失2億26百万円(前年同期は2億13百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

売上高は衣料品市場全体として商品価格帯の低下から販売単価の下落が進み、数量増で補うことができず減少しました。販売チャネル別では、専門店

## 通期見通しについて

下期におきましては、売上対策として「低価格商品への対応」、「専門店向け販路の拡大」、「ブランドショップ展開の拡大」の3つに引き続き取り組んでまいります。「低価格商品への対応」は、アセアン生産の拡大により製造原価を抑えた商品開発を進めます。「専門店向け販路の拡大」では、シャツ、ブラウス、ボトムといった商品の取引が先行して進んでおり、下期に向け単価の高いアウターや機能素材を使ったボトムなどの取引拡大を進めてまいります。「ブランドショップ展開の拡大」では、量販店の売上対策として、ブランドショップの出店を引き続き進めます。地方の大型店舗を中心に当期合計で30店舗増を計画しています。

利益対策としては、「主力工場の見直し」と「品質管理の強化」に取り組

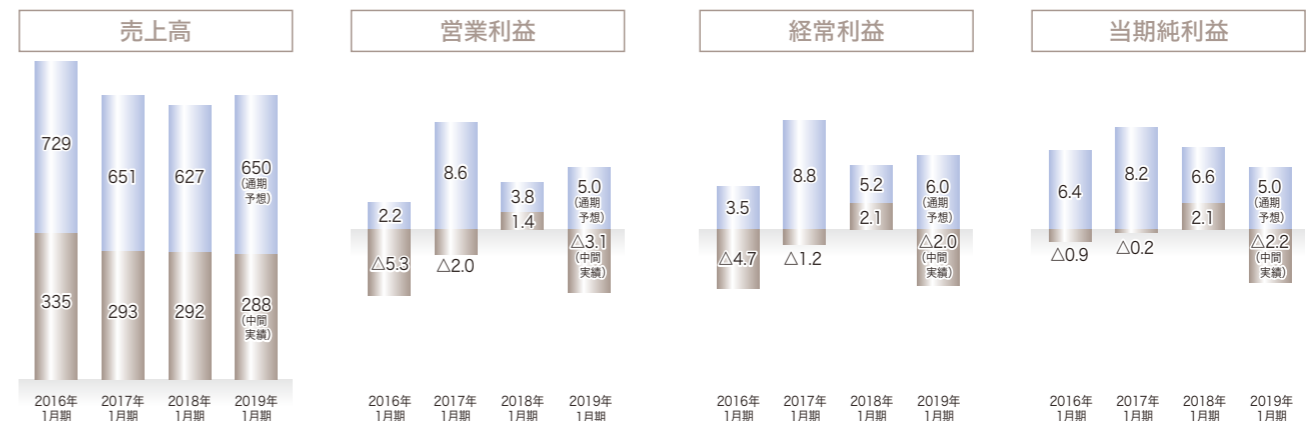
向けや無店舗向けの販売が伸びたものの、量販店向けの販売が減少しました。専門店向けは、専任部署での新規取引の開拓と株式会社サードオフィスの連結化により、セレクトショップ等の販路が拡大しました。

利益面では、生産のアセアンシフトや貿易コストの見直し等による原価の低減、海外の生産管理を強化することで、国内での品質管理費用の削減を進めました。

みます。「主力工場の見直し」においては、当社は中国の主力工場への生産集約を進めることで原価の低減、貿易コストの削減を進めてまいりました。現在、拡大するアセアンでの生産に対応して、主力工場の認定をアセアンでも増やしており、生産コストの低減に努めてまいります。「品質管理の強化」においては、中国の主力工場では当社の現地スタッフが工場の巡回チェックをすることで不良品を生産しない体制へと管理を強化しています。アセアン生産においても、中国と同様の巡回管理体制を構築します。また、生産前に生地や附属品の検査を強化することで、不良品を削減します。

これらの取り組みにより、通期の連結業績は、売上高650億円、営業利益5億円、経常利益6億円、当期純利益5億円を予想しています。

## 連結業績の推移





## TOPICS① 中初のグループ化

### 帽子を中心とした 製造卸売事業を行う (株)中初をグループ化

2018年9月14日、帽子を中心とした製造卸売事業を行う株式会社中初をグループ化しました。

株式会社中初は、創業の1888年(明治21年)より帽子関連の商品を取扱う歴史ある会社で、レディースの帽子を中心に幅広い年齢層のお客様の支持を得て、業界内での地位を確立しています。

既存のアパレル商品に加え、服飾雑貨を拡充することで、売場をトータルに提案できる企画提案力を高め、当社グループの事業拡大を図り、企業価値を向上させていきます。

## TOPICS② 重点強化アイテム

### ニットボトムを専門店へ拡販

2019年春夏から、総合小売業向けの  
レディースニットボトム  
「BBジーンズ」を専門店に拡販します。

「BBジーンズ」はジーンズのような見た目ですが伸縮性があり、動きやすいのが特徴です。レギンス感覚ではける手軽さも支持され、発売から累計700万枚を売るヒット商品になっています。

専門店向けでは相手先ブランドによる企画・生産を軸に、カジュアル専門店やセレクトショップなどに販売していきます。

### 韓国ファッションを意識した ジュニア向けブランド 「BLACK SUE ブラックスー」

2018年秋冬から韓国ファッションを  
意識したジュニア向けブランド  
「BLACK SUE ブラックスー」の  
展開がスタートします。

テーマは「オルカジミクス」で、美女を表す韓国の造語“オルチャン”からとりました。

主な販路は総合小売業と専門店チェーンで、ジーンズカジュアル専門店への販売も進めていきます。



## TOPICS③ レディースブランドショップ出店強化



### レディースブランドショップ 出店エリアの拡大

当社は自主管理型レディースブランドショップにおいて「エーシーデザイン パイアルファキュービック」、「デコイ・シンス1891」、「プチオンフルール」の各ブランドの売上が好調に続いていることから、さらに販売基盤を強化するために、出店が手薄なエリアを強化していきます。前期は中四国エリアへの出店を拡大しました。

当期は北関東以北のエリアを中心に出店を拡大し、前期末の233店舗から当期は30店舗増の計画をしています。

## TOPICS④ 業務改革プロジェクト



### コミュニケーション スペースの設置

フロア内でFace to Faceのコミュニケーションを取れるように、コミュニケーションスペースを設置しました。

風通しの良い職場環境をつくり、業務効率の改善を図ります。

### フリーアドレスを設置

社員が固定席を持たず、業務内容や状況に応じて空いている席を使い仕事をするフリーアドレスを設置しました。

部署の壁を取り除くことによって、コミュニケーション力、情報共有力をアップします。

### フロア改革

業務改革プロジェクトの一環として、東京店のオフィスレイアウトを一部見直しました。仕事の仕方を変えて、働きやすい環境を作ります。



## オンラインショップ



## HPのご紹介



当社グループホームページでは、IR情報や決算情報をはじめ、当社をよりよくご理解いただくための情報がご覧いただけます。

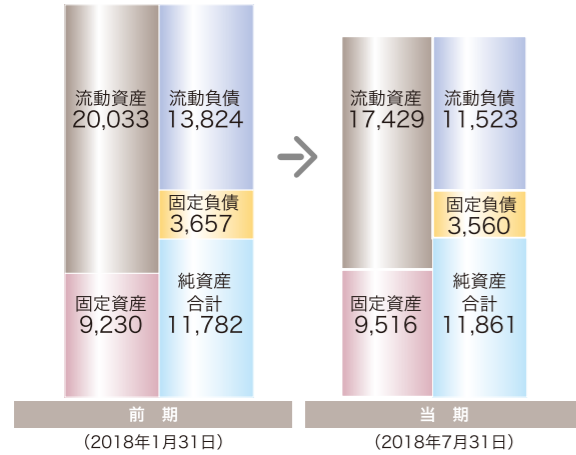


<http://www.crossplus.co.jp/>

## 連結財務諸表

### 第2四半期連結貸借対照表

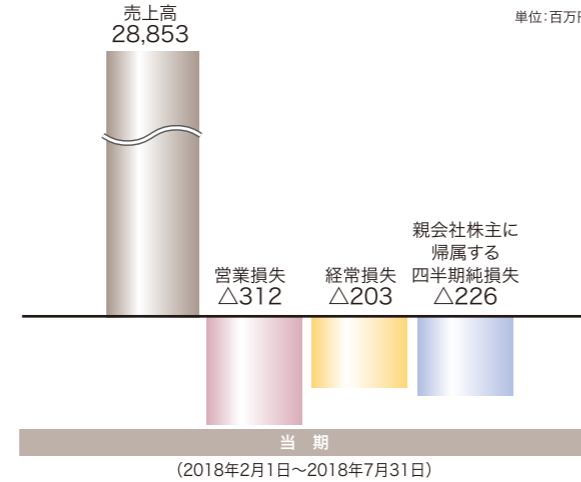
単位:百万円



科目	前期 (2018年1月31日)	当期 (2018年7月31日)
(資産の部)		
流動資産	20,033	17,429
固定資産	9,230	9,516
資産合計	29,264	26,946
(負債の部)		
流動負債	13,824	11,523
固定負債	3,657	3,560
負債合計	17,481	15,084
(純資産の部)		
株主資本	10,344	10,098
その他の包括利益累計額合計	1,424	1,746
新株予約権	13	16
純資産合計	11,782	11,861
負債純資産合計	29,264	26,946

### 第2四半期連結損益計算書

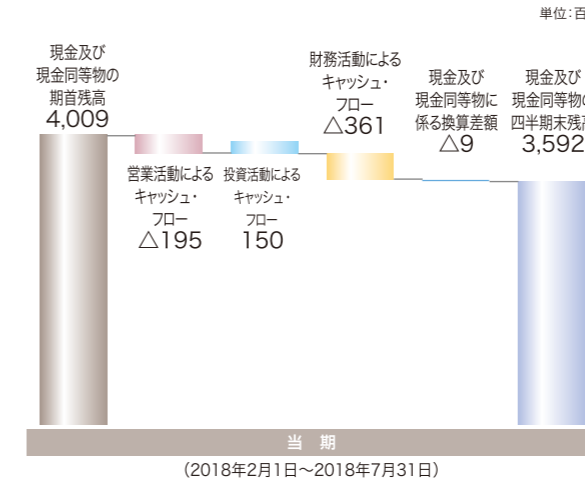
単位:百万円



科目	前期 (2017年2月1日~2017年7月31日)	当期 (2018年2月1日~2018年7月31日)
売上高	29,272	28,853
売上総利益	6,030	5,550
販売費及び一般管理費	5,888	5,862
営業利益又は営業損失(△)	142	△312
営業外収益	121	155
営業外費用	45	46
経常利益又は経常損失(△)	218	△203
特別利益	—	2
特別損失	—	66
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	218	△267
法人税等合計	4	△40
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	213	△226

### 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

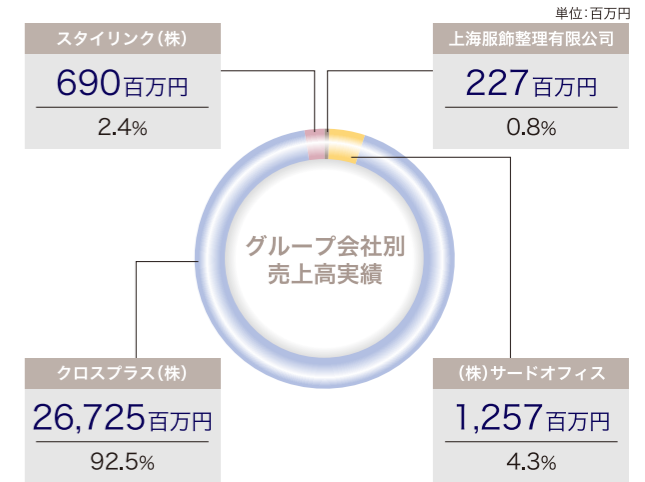
単位:百万円



科目	前期 (2017年2月1日~2017年7月31日)	当期 (2018年2月1日~2018年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,223	△195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67	150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△251	△361
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	897	△416
現金及び現金同等物の期首残高	4,419	4,009
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,317	3,592

### グループ会社別売上高実績

単位:百万円



連結調整前の数値を掲載しております。

グループ会社	売上高		
	前期 (2017年2月1日~2017年7月31日)	当期 (2018年2月1日~2018年7月31日)	前期比 (%)
クロスプラス(株)	27,957	26,725	95.6%
スタイリンク(株)	1,197	690	57.6%
(株)サードオフィス	—	1,257	—
上海服飾整理有限公司	161	227	141.0%
連結調整	△43	△46	—
連結	29,272	28,853	98.6%

## 株主優待制度のご紹介

毎年1月31日(決算期)現在の株主名簿に記載された100株(1単元)以上を保有する株主様に対して、「クロスプラスグループの選定商品」と「クロスプラスオンラインショップのクーポン券」のいずれかをお選びいただき、ご所有株式数に応じて次のとおり贈呈いたします。

ご所有株式数	選択制	
	当社グループ選定商品の場合	クーポン券の場合
100株以上500株未満	小売価格3,000円相当	3,000円
500株以上1,000株未満	小売価格5,000円相当	5,000円
1,000株以上	小売価格10,000円相当	10,000円

## 特別優待

上記の他に、抽選で株主様に30万相当の旅行券を贈呈いたします。年1回定時株主総会の終了後に、総会会場にて抽選会を実施し決定いたします。

## 配当政策

- 今後の財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続していくことを基本方針としています。
- 2019年1月期の1株当たりの配当金は、6円を予想しています。

		2018年 1月期	2019年 1月期
配当金	第2四半期末	3.0円	3.0円
	期末	3.0円	3.0円(予想)
	年間	6.0円	6.0円(予想)
配当性向		6.6%	8.8%

## 抽選の対象となる株主様

- ①毎年1月31日現在の株主名簿に記載された100株以上を保有する株主様
- ②直近の期末株主名簿から100株以上を3年以上継続して保有(期末・中間株主名簿に同一の株主番号で連続7回以上記載)の株主様

## 当選数

- ①の株主様の中から10名様
- ②の株主様の中から2名様(ただし、①と重複当選の場合は無効といたします)

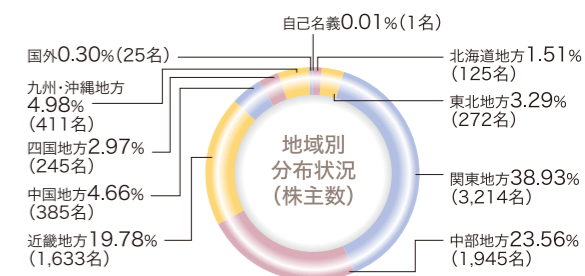
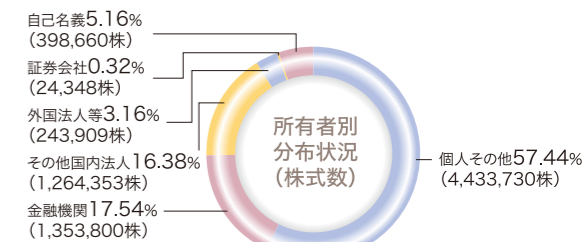
## 株式の状況 (2018年7月31日現在)

会社が発行する株式の総数..... 31,600,000株  
 期末発行済株式総数..... 7,718,800株  
 期末株主総数..... 8,256名  
 期末単元株主数..... 7,925名

## 大株主

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
辻村 隆幸	593,650	7.69%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	549,600	7.12%
クロスプラス社員持株会	325,860	4.22%
田村駒株式会社	238,400	3.09%
森 文夫	226,330	2.93%
株式会社ヤギ	218,600	2.83%
有限会社シービーモア	191,250	2.48%
株式会社三菱UFJ銀行	166,000	2.15%
シービーホールディング株式会社	140,000	1.81%
辻村 幸子	138,850	1.80%

※当社は自己株式398,660株(持株比率5.16%)を保有しております。



## 会社概要 (2018年7月31日現在)

事業内容 婦人、女兒向けアウターウェア全般を企画製造し、量販店、専門店等への卸売及び百貨店等での小売

創業 1951年8月

設立 1953年4月

資本金 1,944百万円

代表者 代表取締役社長 山本 大寛

従業員数 722名(連結)、614名(単体)

事業所 本社:名古屋市中区栄3-9-13  
 東京支店:東京都中央区日本橋浜町3-3-2  
 物流センター:中部、CP流通

グループ会社 スタイルリンク(株):東京都(株)サードオフィス:東京都  
 客楽思普勒斯(上海)服飾整理有限公司:  
 検品センター(上海、青島、烟台、南通)

## 役員の状況 (2018年7月31日現在)

代表取締役社長 山本 大寛

取締役会長 森 文夫

取締役副会長 辻村 隆幸

常務取締役 北出 哲男

取締役 西垣 正孝

社外取締役 大爺 正博 江口 恒明

常勤監査役 曾我 孝行

監査役 虫鹿 宏

社外監査役 川合 正 松永 安彦

常務執行役員 鈴木 英司 西尾 祐己 大口 浩和

執行役員 丸尾 裕之 柳瀬 努 内藤 法子

## 株主メモ

決算期 毎年1月31日

定時株主総会 毎年4月開催

基準日 ・定時株主総会 1月31日  
 ・期末配当金 1月31日  
 ・中間配当金 7月31日

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部  
 名古屋証券取引所市場第二部

公告の方法 公告は電子公告にて行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
 電子公告掲載URL: <http://www.crossplus.co.jp/>

株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について  
 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■未払配当金の支払について  
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■配当金計算書について  
 配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。  
 \*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



CROSS PLUS

クロスプラス株式会社

〒451-8560 名古屋市西区花の木3-9-13

TEL 052-532-2211(代)

<http://www.crossplus.co.jp/>